

事業所名

はじめのいっぽ弥生

支援プログラム

作成日

令和6年

8月

1日

法人（事業所）理念		・家庭的な雰囲気の中「自然・食育・生活」を中心とした療育を行い、基本的な生活習慣を身に付けられるよう支援します。・一人ひとりの個性を尊重し「ゆっくり、じっくり、ていねいに」子どもと関り、それぞれの成長や発達を信じて待ちます。・仲間を認め、助け合う経験などを通じ、集団生活や地域社会へ適応できるよう支援します。					
支援方針		・住み慣れた町で、安心した日常生活が営めるよう「衣・食・住」を中心に様々な経験を積み重ね、基本的な生活習慣の自立を促し、自信へとつなげる。・一人一人の個性、成長、発達段階を見極め、“ゆっくり、じっくり、ていねいに”関りながら、興味関心を把握し、個々に適した療育を行う。・仲間を認め、助け合い、数々の学びより、集団生活や地域生活への適応が出来るよう支援する。					
営業時間		10時	0分	13時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・次の遊びへ移行する際など、使っていたものを片付けてから行動が出来るよう、大人が見本を示したり、声掛けなどにより自発的な行動が出来るよう促していく。					
	運動・感覚	日々の戸外活動により、楽しみながら体力や体幹を鍛えたり、自然物に触れる中で五感が育まれるよう環境を整える。					
	認知・行動	事前に見通しを立て伝えたり、「あと何回ね」等次の活動へ移る心の準備ができるような具体的な声掛けや、絵カードを用いた支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	他者との関りを通して、自分の気持ちを相手に事ばって伝えることが出来るよう、大人を介してサポートする。					
	人間関係 社会性	子ども同士のトラブルの際は、それぞれの子どもの思いを受け止め、一緒に解決策を考えるなど、大人が介入しながらお友達との関りが楽しいと思えるようサポートしていく。					
家族支援		・本人が自分で考えたり、自分の気持ちを言葉で相手に伝える力が身に着くよう、具体的な方法をお伝えし実践していただく。・ペアレントトレーニングを学び、家庭で実践していただく。			移行支援		・必要に応じて幼稚園・保育園の担当者と情報交換などを行い、行事などの普段と異なる活動の際の子どもとのかかわりについて、具体的なかかわり方のモデルと示す。
地域支援・地域連携		・周辺の公園のゴミ拾いや草刈りなどを定期的に行っている。又事業所周辺の花壇の整備やゴミ拾いを行っている。			職員の質の向上		又市町村主催の研修などに参加。社会福祉協議会主催の研修への参加。虐待防止の研修への参加。定例会議で情報共有。
主な行事等		・ピクニック・登山・いっぽ食堂・いっぽ祭り・電車の旅・炊事遠足・収穫祭・餅つき大会・クリスマス会・人形劇・雪中運動会・節分・味噌づくり・音楽コンサート					